時事新報は日本國中唯一の毎日刊行新聞紙なり

時事新報

第二千四百十四號
明治廿二年九月十六日　月曜日
舊暦己丑八月廿二日（乙未）
日出午前五時二十五分　日入午後五時四十六分
月出午後九時五十九分　月入午前十一時四十分
滿潮午前九時二十一分　午後九時四十分
（西暦一千八百八十九年）

時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ

一枚五錢〇一箇月前金五十錢〇三箇月前金一圓五十錢〇六箇月前金三圓〇一箇年前金六圓

〇府下新報社ヨリ直接ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

一行五號活字廿四字詰	一日限	二日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十二錢	十一錢	十錢五厘

月曜日幷に大祭祝日の翌日等他新聞紙の休刊日に限り時事新報配達の求めに應ず此場合には新報代價一箇月前金八錢にして地方に郵送する分は此外に貼用する郵便印紙の代價を申受く可し

來る十月一日より新聞紙の遞送税半減して一號に付五厘となりたるに付同日以後時事新報社は新報の郵送料として一箇月前金十五錢を申受る事に改定せり由て爾後郵便配達に附す可き地方にても一箇月前金六十五錢にて新報の購讀相叶候又十月一日以後の前金既に拂込相成居候分は前記の割合を以て換算し前金の期日を繰越可申候

時事新報

歐洲活劇幕漸く開かんとす

今や歐洲列國の關係は國力平均の工合に因りて容易に動かす可きに非ず彼の東歐事件の如き毎度物騷ある評判を生ずることあれども爲めに列國の交態を破りて干戈を見る可しとも思はれず至て心安き次第なれども爰に一事の行掛よりして或は變じて戰端とも爲り歐洲列國を震動せんとするものあり何ぞやブーランヂエー將軍の進退是れなり抑もブーランヂエー將軍は從來赫々の功勞なく試に其手柄を申せばチュニスに司令官たりし時、特に兵士を厚遇して其甘心を收めたる位の事なれども巴里人灑落の風采に加ふるに軍人流の態度を以て身體魁り大ならず容貌險相ならずして愛嬌人心を牽ふに足り其政治界に現はれたるは忽然として彗星の如く主義も甚だ曖昧にして正體の見難きこと幽靈の如く時に名說奇案の人を驚かすものなしと雖ども之に面接して其談を聞けば尋常一樣の言にても語々快活且つ眞目ありて何となく肝に銘するが如く遠きものは其名を聞きて鬼をも拉ぐ將軍ならんと思ひの外、近く接すれば柔和にして誰れにも可愛がらるゝは即ち將軍の天賦なり近頃巴里府の交際社會にブーランヂエー主義反對の貴夫人あり凡そ何れの宴會にても將軍と同席を避くるに努むる人にて之れに問ふて政治上の異見は左る事ながら推して交際社會に及んで其同席を好まざるは[illegible]に非ざるべし云々と申したるに貴夫人は乃ち之れに答へて左ればなり一旦將軍と同席して之れと言語を交ゆるときは妾の反對說も其時限り忽ち將軍贔負と爲るを知りつゝ、方向を誤るが故に努めて其同席を恐るゝなりとて其情實を明したりと云ふ亦以て將軍の風采知る可し、俗世界の人心を收め得るの妙あるを見るべく[illegible]誇る佛蘭西人の人氣に投じて其御輿本尊たる[illegible]なりと申す可し左れば彼のフェリー及び[illegible]が將軍の軍隊中に人望あり且つ政治上の才幹あるを見て銘々その器械に供せんとし之を政治界に手引したる頃は眞實或る政治家の器械人として誰れとて之を畏るゝものなかりしかどもビスマーク翁の炯眼早くも將軍の人と爲りを看破し誰家の老嫗ぞ寧馨兒を生むの感ありしものにや翁は當初より將軍の前途を畏れて其一擧一動に注目したりと云ふ蓋しビスマークの將軍を畏るゝは將軍其人を畏るゝに非ず將軍の人と爲り恰も佛國一般人の意氣に投じて其働きを結合するの恐れあるを畏るゝならん現に今日の處にても上流社會思慮に富み共和政治の大切なるを思ひナポレオン三世の再現を慮る人々は將軍の野心增長して天下の蒼生を誤るの日あるを掛念するが故に將軍の人望も自然此邊には薄けれども中以下多數の人民は多年佛國政治上の習慣、大人崇拜の性を成して人望の潮勢滿ち來れば千里滔滔として防ぐ可らず先般セーン撰擧會の際、將軍が未曾有の大多數を得て遂にフロッケ內閣を顚覆したるが如き下流社會多數人情の向ふ所を見る可きなり然るに近頃巴里發の電報に據れば兼て佛國元老院中に開きたる高等法院の裁判にては右黨（王權黨の總稱にして議長席より見て右側に列するを以て此名あり）の異議ありしにも拘はらずブーランヂエーを謀叛人と認定したりと云々とあり左れば將軍は國を去りて既に反賊の惡名を受け身は窮虎に似て嵎を英國に負ふものにして早晚其爪牙を張り最後の奮進を試むるは勢の必至なりと云ふ可し而して其機會は來る十月の議員撰擧にあらんか聞くが如くなれば今回巴里の大博覽會は來る十月を以て閉會するの豫定にして佛國人民は博覽會開場中政治上に騷擾ありては中道大事を誤るの恐れありとて片唾を呑んで謹愼するの狀あるが故にチラー氏の博覽會內閣は同會の終ると同時に破るゝこと勿論にして此際議員改撰の事あり人心激昂の機を與へたらば待ちに待ちたる佛國人、待ちに待ちたるブーランヂエー如何で須臾くも猶豫すべき久し振りにて國に歸らんとする將軍、久し振りにて之を迎へんとする人民、意氣正に投合して議員改撰に好結果を占め元老院に代議院に將軍黨が多數を得れば彼の謀叛人の宣告の如き反掌の間に取消す可きのみ世はブーランヂエーの物と爲り扨て是れよりして人望を繫ぎ追て金冠を戴くまでには或は兵を隣國に用ひ武功を以て人心を奪ひ其觀聽を聳かすやも知る可らず現にブーランヂエー將軍が曩にフェリー內閣に在りて陸軍大臣を辭職するや佛國の兵を用ふるは東京の如き邊陬に非ずして更に之れより大切なる處ありとて暗に獨逸復讐の意を示し以て其評判を博したるが如き將軍功名心の在る所、佛國人向背の存する所を知る可きなり尤も佛國內閣にては大博覽會を延期して之を來年まで持ち續け十月撰擧の其際に博覽會の重きに依りてブーランヂエーの騷動を鎭せんとて內々其邊の考案あるやに聞けども一國內の都合を以て世界萬國を相手にする博覽會の期限を延長するも如何にや事實に行はれざることあらん即ち來る十月の撰擧は將軍進退の決する所、佛國禍福の分るゝ所、歐洲和戰の變ずる所にして之を歐洲活劇と稱するも可ならん蓋しナポレオン三世は年三十前後にして大位を得たれば之を得るに多少の段階を踏みたれどもブーランヂエー將軍は今日方に五十左右、功名の念は熾にして殘る春秋は甚だ少なし即ち將軍の進退に於て動もすれば功を急ぐの氣味ある所以にして來る十月の撰擧場などには或は包まずに本性を露呈し成敗一擧悲慘劇を演出する等の奇觀もあらんか我輩は幕明き前より世人と共に之れを望見せんと欲するものなり

雜報

○條約改正と天變地異と　此頃條約改正に就て各地方より種々の建白書出る中に九州邊より差出したる中止建白書の中には其立論支那流にして頻りに新條約案を非難したる末今回の條約は天、憤り地怒りて或は熊本の地震となり或は大和の洪水となる云々等の文句もありとか聞けり

○武將軍との問答　去る七月下旬英國ペル　メル　ガゼット新聞記者が倫敦に滯在中なる武將軍を訪ふて其意見を叩きたる時の問答の大要は左の如し

記者問　將軍は當府を出立して米國に赴くの意ありと聞く果して眞なるや

將軍答　其は誤報なり余は當府を去るの意なし

問　將軍は軍法會議の裁判を受くるならんと云へり其眞僞如何

答　余は佛國の現政府が如何に決心するかを語る能はず余は其事に就て少しも聞きしことあらざるなり

問　然らば將軍は上院に於ける審問及び官金私用の訴訟のみを知るや

答　然り余は法廷の召喚に應ぜざる廉を以て罰せらるゝならん政府黨は余が尚は白耳義のブラッセル府にありし時既に其手筈を定め置きたり

問　然らば將軍の所有物は悉皆沒收せらるゝならん

答　余及び余の親友は其邊に配慮して豫め必要なる處分をなし置きたれば一も沒收せらるゝものなし

問　ロッシエフォール氏のイントランシゲン新聞（武將軍黨の機關新聞）は沒收せられざるか

答　同新聞は株主の所有に係るものなれば其憂なし

問　將軍は將軍に關係あるが爲に免職せられたる佛國士官に相當の給料を送る筈なりと聞く眞なるか

答　然り寔に眞なり然れども免職せられたる士官は余をして滿足せしむるまで充分に其理由を證明せざるを得ず若し然らざれば自己の不能、不正、不注意に依て免職せらるゝ者も余の補助を乞ふに至る可ければなり

問　將軍は秋期總撰擧の際に佛蘭西全國の各區より國會議員候補者として現はれ出づべき數多の友人を有するや

答　然り余は候補者となるべき數多の友人を有せり此事に就ては少しも憂ふるに足らず余は實際既に其方略を定め置けり

○師團演習　各師團とも經費節減上よりして每年旅團演習のみに止まり師團演習とては久しく其執行なかりしが第一師團にては本年久し振にて其筋へ經伺の上師團演習を執行する趣にて其演習地は茨城、栃木の兩縣地方とし來る十一月六日より執行する事に決定したるよし

○乘組員の定員　海軍省にては此程浪速、高千穗兩艦の定員を改定し從前主計官は主計少監なりしを大主計

とし其他乘組
樣改正に着手

○演說場巡査
は棧側或は庭
日よりは演壇
乙所に入り交

○東京電信建
建築課より技
電信建築區は
て左にあらず
重ねて茲に配

○旅人宿下宿
人宿、下宿取
月十三日警察
締規則に基き
樣を與へ即ち
其落成を届出
に付來る十月
したるよし

○帝國大學
（火曜日）午後
たる大學院學
る旨去る十二

○朝鮮通信
朝鮮の商賣
人の知る所に
り我貿易にゝ
出入より內地
各地の調査を
居れども一時
留する支那商
を左に掲げて
問　朝鮮よ
答　紅參、地
問　支那、朝
勘定あるか又
答　現金及び
に限る即ち或
拂ふべき手形
換す尤も延
にのみ用ふ
問　互に信用
は其利割は如
答　相互の間
即ち互の貿易
書票を取り
を見ず
問　朝鮮人の
は物品か
答　重に韓
問　朝鮮の
ありや若し
答　牛皮及び
法先づ紅
附し紅參出
なし其金高
附をなす、
をなして金